



KUDO NEWS

第50期 中間報告書

自 2020年7月1日 至 2020年12月31日



工藤建設株式会社



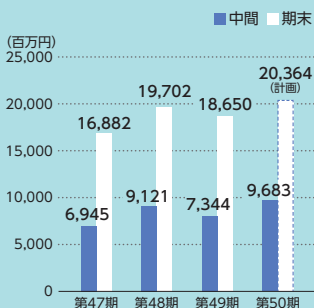
代表取締役 **工藤 英司**

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第50期中間期（2020年7月1日から2020年12月31日まで）の業績の概要と、当社の取り組みにつきましてご報告申し上げます。

財務
ハイライト

● 売上高



お客様の感動を創造する生活舞台

国内経済及び建設・住宅業界、介護業界について

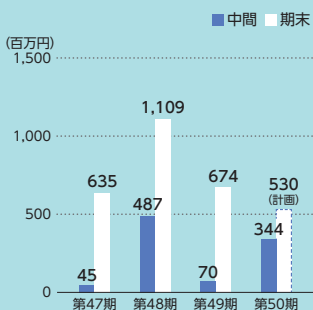
当第2四半期累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。政府による各種政策の効果等もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されているものの、内外の感染拡大による社会経済活動の下振れリスクの高まりに十分注意する必要があります。

建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響による民間企業の経営環境の悪化に伴う設備投資の先送りや規模縮小の動きがあり、今後も建設需要やニーズの変化に対して注視が必要な状況が続いております。

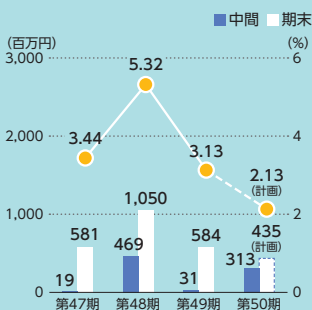
住宅業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、新設住宅着工戸数は持家・貸家・分譲住宅ともに前年を大幅に下回るなど住宅業界を取り巻く環境は厳しく、加えて雇用・所得環境の悪化に伴う消費者マインドの低迷もあり、住宅投資は総じて弱い動きが続いております。

介護業界におきましては、高齢化率の上昇及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、社会インフラとして介護サービスの需要が一層高まるなか、介護従事者については、有効求人倍率が高い数値で推移しており、引き続き介護人材の確保と組織づくりが介護事業者の課題となっております。

● 営業利益



● 経常利益 / 売上高経常利益率



創造企業を目指してまいります。

■ 当中間期の業績及び配当について

このような情勢のなか、当社は、神奈川・東京を中心とした営業エリアにおいて、お客様の感動を創造し、人生のさまざまなステージを支える生活舞台創造企業を目指して事業展開を図ってまいりました。

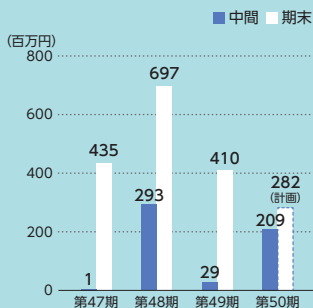
この結果、第2四半期累計期間における業績は、売上高96億83百万円(前年同期比31.8%増)、営業利益3億44百万円(前年同期比389.0%増)、経常利益3億13百万円(前年同期比889.8%増)、四半期純利益2億9百万円(前年同期比613.6%増)となりました。

なお、当中間期におきましては、前期末にご報告させていただいていたとおり、配当を見送らせていただき、年間目標を達成することで当期末配当予想を100円とさせていただきます。

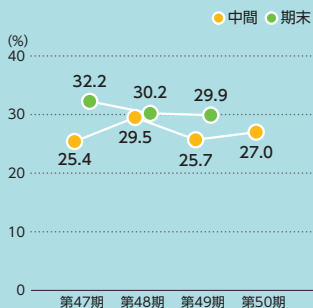
当社を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、事業競争力、収益力の一層の強化に向け一丸となって努力を続けてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2021年2月

● 中間(当期)純利益



● 自己資本比率

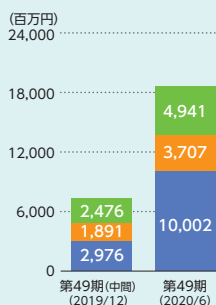


数字で見る工藤建設

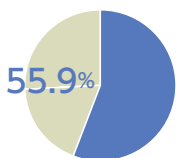
事業内容

企画・提案・建設を一貫したサービスで提供している建設事業、24時間365日住まいの安心を提供している建物管理事業、「地下室付住宅」をはじめ理想の住まいづくりを行う戸建住宅事業、安心と質の高いサービスを行う介護事業まで、人生すべてのライフステージに関わる「すまい」を提供している「生活舞台創造企業」です。

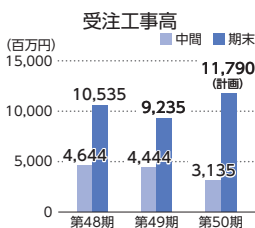
事業別売上高



建設事業

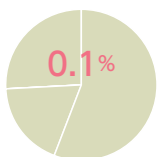


売上高
54億17百万円
(82.0%増)
営業利益
2億63百万円
(89.2%増)



売上高は、手持ち工事の順調な進捗により、54億17百万円(前年同期比82.0%増)、営業利益は2億63百万円(前年同期比89.2%増)となりました。

不動産販売事業

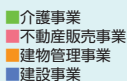


売上高 9百万円
営業利益 6百万円

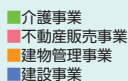
不動産販売部門に係る売上は仲介手数料のみとなりました。

(参考:前年同期売上高はございません。)

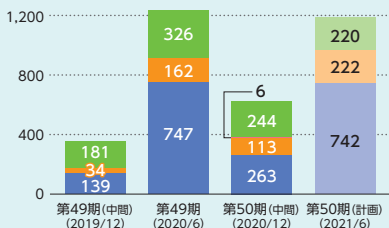
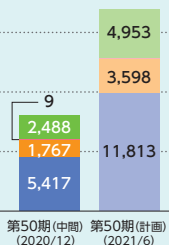




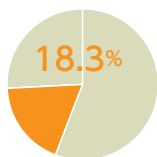
事業別営業利益



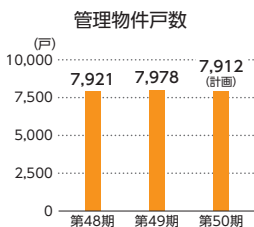
(百万円)
1,600



建物管理事業

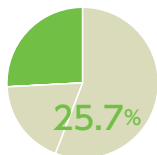


売上高
17億67百万円
(6.5%減)
営業利益
1億13百万円
(231.1%増)

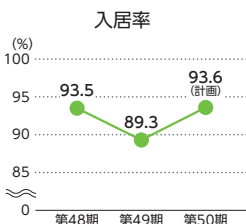


売上高は、手持ち大規模修繕工事の減少により、17億67百万円(前年同期比6.5%減)、営業利益は1億13百万円(前年同期比231.1%増)となりました。

介護事業



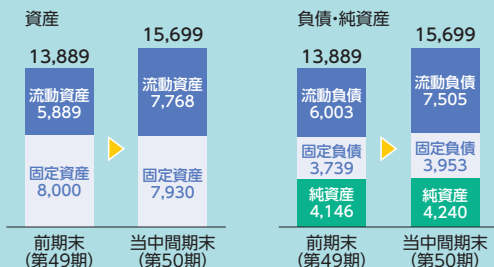
売上高
24億88百万円
(0.5%増)
営業利益
2億44百万円
(34.4%増)



売上高は、入居率の向上により、24億88百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は2億44百万円(前年同期比34.4%増)となりました。

● 中間貸借対照表

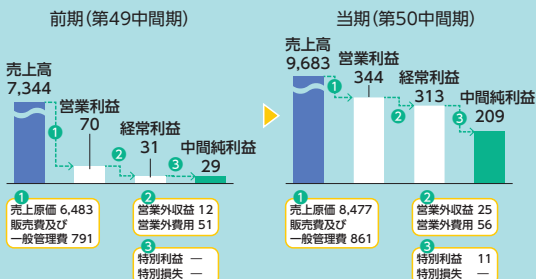
(単位:百万円)



資産の増加は、現金預金が7億円、完成工事未収入金等が7億47百万円増加したことにあり、一方負債の増加は、短期借入金が14億90百万円、未成工事受入金が3億58百万円増加したことにあります。

● 中間損益計算書

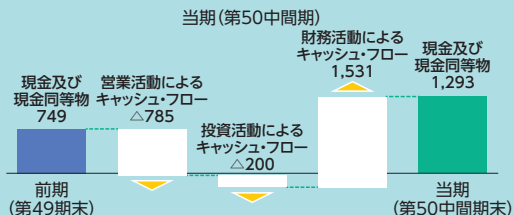
(単位:百万円)



売上高は、建設事業において、例年工事の完成引渡しが多いため、第1、第2四半期会計期間に比べ下半期の売上高が著しく多くなるといった季節の変動があります。

● 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



当中間期において営業活動により減少した資金は7億85百万円で、主な要因は売上債権の増加であります。投資活動により減少した資金は2億円で、主な要因は定期預金の預入による支出であります。財務活動により増加した資金は15億31百万円で、主な増加要因は短期借入れの増加であります。

より詳細な情報は
こちら



工藤建設

検索



特集

語る キーマンが

Vol.15

社外監査役
水上亮比呂



社員1人1人の実直な姿勢で 価値を提供

私 は昨年より、当社の社外監査役に就任しておりますが、これまで監査法人という立場で当社を含め多くの企業に関わらせていただきました。

その中でとりわけ強く感じたのは、働く社員1人1人の仕事に対する真面目さ、実直な姿勢です。

住まいづくりを通じてお客様1人1人との良好な関係を構築し続けてきている点や、社会貢献という点で非常に高い意識を持って取り組んでいる介護施設の運営など、事業としても多様性を持ちながらそれぞれの事業でしっかりとお客様と向き合い価値提供を行っている点が大きな特長だと思っています。

より一層のガバナンスの強化を目指す

当 社はすでに、上場会社として外部からの意見に耳を傾け積極的に採り入れようとする姿勢が伺えます。

その中で、当社がこれまで以上に成長していくためにも、



公認会計士の立場から

多くの企業を見てきた経験を活かし、
事業の発展に寄与します。

●Profile 水上 亮比呂 (ミズカミ・アキヒロ)

1956年9月生まれ。1983年10月監査法人サンワ東京丸の内事務所(現 有限責任監査法人トーマツ) 入所。2018年9月水上亮比呂公認会計士事務所開設 代表就任。2020年より社外監査役就任。

さらなるコーポレート・ガバナンスの強化を目指し、利害関係者の皆様との信頼関係をこれまで以上に向上していける企業になっていく必要があると感じています。

私は公認会計士という背景からも、社会の変化等を踏まえ迅速に対応し当社事業の健全な発展に寄与すべく、第三者的な立場から監査機能を発揮していきたいと考えています。

創業時からの想いも大切にしながら 次なる成長へ

創業から50年以上にわたって大切にしてきた「地域に必要とされる会社でありたい」という想いを大切にしながら、同時に上場企業としても次なる成長をしていく時期に差し掛かっていると感じます。

当社の社員には、本社正面玄関の石碑に刻まれた銘文「念ずれば花ひらく」の通り、自ら決めた目標の達成に向けてまじめに努力する風土があります。

そうして受け継がれてきている想い・風土を大切にしながら、会社が次の段階へとステップアップしていくために私は社外という立場から支え、同時に工藤建設の一員としてともに成長してまいります。



会社概要／株式情報

会社概要 (2020年12月31日現在)

商号 工藤建設株式会社
設立 1971年(昭和46年)7月1日
代表者の氏名 工藤 英司
事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
従業員数 552名(男子281名、女子271名)

事業所

本社 神奈川県横浜市青葉区新石川4-33-10
TEL.045-911-5300 (代表) / FAX.045-911-3960

東京支店(建設事業部)

東京都港区芝5-5-2 原野ビル3F
TEL.03-5419-1792 / FAX.03-5419-1793

港北ニュータウン営業所(建物管理事業部)

横浜市都筑区茅ヶ崎中央56-12
TEL.045-415-8001 / FAX.045-415-8033

フローレンスケアたかつ

川崎市高津区久末1744-2

フローレンスケア美しが丘

横浜市青葉区美しが丘4-43-4

フローレンスケアたまプラーザ

川崎市宮前区犬蔵2-17-65

フローレンスケア港南台

横浜市港南区港南台6-5-13

フローレンスケア宿河原

川崎市多摩区宿河原6-12-29

フローレンスケア聖蹟桜ヶ丘

東京都府中市日新町5-53-1

フローレンスケア芦花公園

東京都世田谷区南烏山2-32-28

フローレンスケア荻窪

東京都杉並区荻窪2-4-29

フローレンスケア横浜森の台

横浜市緑区森の台12-12

フローレンスケア宮前平

川崎市宮前区宮前平2-9-2

フローレンスケア溝の口

川崎市高津区下作延3-6-2

フローレンスケアホーム千鳥町

東京都大田区千鳥3-21-3

フローレンスケアホーム川崎大師

川崎市川崎区昭和2-5-6

フローレンスケアホーム鎌倉

鎌倉市岩瀬1-13-1

フローレンスホーム洋光台

横浜市磯子区洋光台3-24-26

フローレンスケア調布

(3月1日開所予定)
東京都調布市小島町1-16-3



役員

代表取締役	工藤 英司	
常務取締役	工藤 隆晃	(営業全般統括)
常務取締役	藤井 研児	(介護事業部長)
取締役	田崎 功	(建設事業部長)
取締役	秋澤 滋	(経営管理部長)
取締役	中山 仁	(住宅事業部長 兼不動産開発室長)
取締役	工藤 隆司	
取締役	太田 嘉雄	(社外取締役)
取締役	内田 裕子	(社外取締役)
常勤監査役	庄司 盛弘	
監査役	苫米地 邦男	(社外監査役)
監査役	水上 亮比呂	(社外監査役)
執行役員	白坂 義道	(建物管理事業部長)
執行役員	島山 靖浩	(住宅事業部設計部長)

株式の状況 (2020年12月31日現在)

発行可能株式総数	4,400,000 株
発行済株式の総数	1,331,220 株
株主数	827 名

大株主 (2020年12月31日現在)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社トップ	557,100	48.80
工藤 英司	39,819	3.49
株式会社MOMOコーポレーション	39,700	3.48
株式会社横浜銀行	39,100	3.42
工藤 次郎	33,513	2.94
八重沢 知正	32,015	2.80
工藤建設従業員持株会	18,380	1.61
川本工業株式会社	17,960	1.57
株式会社吉永商店	15,600	1.37
戸田建商株式会社	12,720	1.11

(注) 自己株式189,526株を保有しておりますが、大株主から除いております。



介護事業トピックス

3月1日より新規事業所が開所いたします



■ フローレンスケア調布 ■

東京都調布市小島町1-16-3

株主メモ

事業年度	毎年7月1日～翌年6月30日
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
定時株主総会	毎年9月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所



工藤建設株式会社

神奈川県横浜市青葉区新石川4-33-10

TEL: 045-911-5300 (代表)



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。